

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

| | |
|---------------|---------------------|
| 事業所番号 | 2470100435 |
| 法人名 | 有限会社 すずらん |
| 事業所名 | 桑名市大山田2-7-11 |
| 所在地 (電話番号) | (電 話) 0594-33-3671 |
| 評価機関名 | 三重県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 津市桜橋2丁目131 |
| 訪問調査日 | 平成 19 年 11 月 8 日(木) |

【情報提供票より】 (H19年10月20日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|------------------------|-----|
| 開設年月日 | 平成 13 年 7 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 6 人 |
| 職員数 | 5 人 | 常勤 4人, 非常勤 1人, 常勤換算 3人 | |

(2) 建物概要

| | | | |
|------|--------|-------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ | 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|----------|---|
| 家賃(平均月額) | 24,000 円 | その他の経費(月額) | 10,000 円 | |
| 敷 金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 1,000円 | | | |

(4) 利用者の概要(10 月 20 日現在)

| | | | | | | |
|-------|-----|------|------|------|-----|-------|
| 利用者人数 | 6 名 | 男性 | 2 名 | 女性 | 4 名 | |
| 要介護1 | | 1 名 | 要介護2 | | 2 名 | |
| 要介護3 | | 1 名 | 要介護4 | | 2 名 | |
| 要介護5 | | 名 | 要支援2 | | 名 | |
| 年齢 | 平均 | 91 歳 | 最低 | 74 歳 | 最高 | 100 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-------------|
| 協力医療機関名 | 笠井内科 山本総合病院 |
|---------|-------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅団地の一角に位置し、散歩コースのある大きな池(鯉や亀などもいる)や緑豊かな公園に隣接しており、四季を体感できる恵まれた自然環境を有する家庭的な佇まいで1階がデイサービス、2階が6名のグループホームである。地域福祉に情熱を注いでいる代表と経験豊かな管理者のもと職員も理念『その人らしい生活を…。』を共有し、利用者の尊厳を尊重した支援がなされている。桑名港や地元の農家から仕入れた新鮮な魚や野菜などを使用したメニューは利用者の毎日の喜びになっている。利用者・職員ともに仲が良く、食事時も笑いのある楽しい雰囲気ゆとりのある優しい介護がなされている。事業所の行事だけでなく地域の自治会行事(市民フェスタなど)にも参加し、地域密着型を実践している事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-----------|--|
| 重点項目 ① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回調査の改善課題(ヒヤリ・ハット認識の大切さ)は直ぐに工夫して取り組まれているが、計画作成者の異動等があり一部は未解決である。現在新しいメンバーで改善に取り組んでいる。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は計画作成担当者と一部の職員でなされているが、できるだけ職員全員で取り組まれることが期待される。</p> |
| 重点項目 ② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>桑名市介護高齢福祉課・北部地域包括支援センター・地域住民・家族代表・大山田地区老人会会長が出席し、第1回の運営推進会議が開催された。グループホーム大山田すずらんの概要説明や利用者の状況報告をしたのみである。運営推進会議は外部の人の目を通して事業所の取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得る貴重な機会である。定期的に開催しサービス向上に活かしていくことが望まれる。</p> |
| 重点項目 ③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>少しでも家族が苦情・要望・意見を言いやすいように配慮し、家族の訪問時にどんなことでも言ってもらえるような雰囲気づくりに留意している。また運営推進会議に利用者家族代表の出席もあり、意見の吸い上げには努力している。</p> |
| 重点項目 ④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>代表者は永年、地域福祉に熱意をもって取り組んでおり、事業所の力を活かして地域貢献を行っている。自治会に加入しており、地域の行事に参加したり、地元のボランティアの訪問もある。散歩時の交流など地域との連携も出来てきている。</p> |

2. 評価報告書

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 立派な内容の三項目の運営理念が掲げられているが、設立当初からのものであり、現状にあった理念に見直しを考えている。 | ○ | 地域との関係性を重視していくためにも、地域との交流を意識した理念を職員全員で検討されることを期待したい。 |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 代表者・管理者・職員ともに『その人らしい生活を・・・』を共有し、理念の実践にむけて日々取り組んでいる。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 散歩時などには挨拶を心がけており、自治会に入り、地域のイベントなどにも参加し地元の方々との交流に努めている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 代表者・管理者・職員とも自己評価・外部評価の意義は理解し、改善すべきところはミーティング等で検討し、改善につなげている。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 桑名市介護高齢福祉課、北部地域包括支援センター、地域住民、家族代表、大山田地区老人会長が出席し1回目の運営推進会議を開催し大山田すずらんの概要説明や利用者の状況報告を行ったのみである。 | ○ | 運営推進会議は外部の人の目を通して事業所の取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、地域の理解と支援を得る貴重な機会である。定期的に行なわれサービスの向上に活かしていくことが望まれる。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の職員とは運営推進会議以外にも、サービス実施内容報告や、代表が母体法人の新事業の展開のための相談に行きその際連携に努めている。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時や電話・手紙などで利用者一人ひとりに合わせて報告を行っている。現在『たより』を定期的に発行するための準備中である。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 可愛い手作りのご意見箱を設置している。運営推進会議に利用者代表の出席もある。職員だけではなく代表もきちんと対応し運営に反映させている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | この事業所は離職者は少なく、また異動も最小限に抑える努力をしている。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | グループホーム協会や市・県社協主催の研修情報は本部に入っており、時間の取れる職員が参加している。 | ○ | 職員個人のスキルアップの為に、段階に応じた研修計画(個人別育成計画)と実施が望まれる。 |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 三重県グループホーム連絡協議会の勉強会やケアマネージャーの研修に出席して同業者との交流の機会をもちサービスの質の向上に努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|--|------|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人と面談のうえ、家族と相談・協力を得ながら、徐々に馴染めるようにして利用をすすめている。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 代表者・管理者・職員ともに利用者一人ひとりに尊敬の気持ちを失わずに接している。毎日の散歩時などにゆっくりと一緒に喜怒哀楽を共にする時間を大切にしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | できるだけ本人の意向に沿うよう努力しているが、聞いても答えの返ってこない場合が多く、家族と話し合いで希望や意向に近づけるよう支援している。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 利用者や家族の希望や意向をもとにカンファレンスを行い、介護計画書を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 利用者の状態に変化のある場合は、優先して随時カンファレンス会議を行い見直しているが、定期的な見直しが十分対応し切れていない。 | ○ | 職員が交代したのを機に、介護計画書の見直しを強力に進めている最中である。忙しい中ではあるが早期に情報の整理をされ、定期的な見直しの基礎固めをされることを期待する。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者・家族の要望や状況に応じて通院等には柔軟な個別支援を行っている。入院された場合も早期退院に向けて、生活の継続の支援を行っている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居時にかかりつけ医の有無の確認を行い、事業所の協力医についても説明し、納得の上、利用者と家族の要望を大切に受診支援を行っている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 医療の必要な人は病院に入院になるが、老衰に対しては看取りの実績もあり、母体事業所での終末対応を行う方針で入居時に説明をしている。法人本部に看護師七名配置しており、支援体制が取られている。職員も全員が終末期に向けた対応方針を共有している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員は利用者一人ひとりの誇りを尊重しながら、言葉かけや対応を行っている。個人情報の保護についても良く理解している。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人ひとりのペースに合わせ、希望に沿うように努力している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 桑名港から仕入れた新鮮魚介類や地元農家産直の野菜などを使用した食事やおやつは利用者の喜びになっている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の心身の状況やその日の気分、希望に合わせた支援をしている。日曜日以外は毎日入浴できる。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの生活歴や趣味が把握されており、その人に合わせた楽しみ事を支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 全員一緒の外出は難しく、交代で建物の周りを散歩したり、買物に出たりとその日の希望にそった外出支援がなされている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵を掛けないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵を掛けないケアに取り組んでいる | 代表者及び全ての職員が日中鍵をかけないことの大切さを認識しているが、デイサービスと共有の1階の玄関は家族の同意の下、現在は鍵をかけている。 | ○ | デイサービスと共有の玄関というやむを得ない事情もあると思われるが、利用者の安全を確保しながら日中鍵を掛けないですむ工夫に取り組んでいくことが望まれる。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 近隣の消防署の協力もあり、年1回利用者と一緒に避難訓練を行い、防火訓練も実施している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 法人本部にもメニューをチェックしてもらい栄養バランスに気を配りながら支援している。食事の摂取量や水分摂取量も把握している。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有スペースには大きな窓があり、隣接している池や木々の四季の移り変わりを見ることができる。座り心地の良いソファなどが置かれ利用者が居心地良く過ごせる工夫がされている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には利用者一人ひとりの使い慣れた物品を置き、居心地良く過ごせる工夫がある。家族などの訪問時には居室で湯茶など個々の楽しみもできるその人らしい居室づくりの配慮がある。 | | |